

生涯スポーツ・体づくり全国会議 2013 一人・スポーツ・未来— 報告

日時：平成25年1月25日（金）10：00～17：00

会場：宮崎観光ホテル

<日程>

10：00～10：30 オープニング

10：40～12：30 基調講演・シンポジウム

14：00～17：00 分科会

○基調講演○

「アスリートの育成とスポーツを通じた社会貢献」

講師：平井伯昌（第30回ロンドン五輪競技大会競泳ヘッドコーチ）

- ・五輪時は、北島選手をはじめベテラン自らジュニア選手の相談に乗るなどサポートをしてくれた。ジュニアにとっても憧れの選手に話を聞いてもらえることでモチベーションの維持に繋がった。
- ・選手でいる間は連盟からの金銭的支援が受けられる。その分、選手であるうちに水泳教室開催や講演活動などを行わせ、相応の金銭感覚や引退キャリアについて考えさせることが重要。
- ・「東京から地元に戻ると1日1時間程度しか練習できず、施設の抽選で落ちると練習できない日もある」という選手も。メダリストになっても、扱いが何も変わらない。
- ・施設を新たに立てるよりも、既存施設を有効活用すべき。そのためにも施設をうまくマネジメントできる人材の確保が必要。
- ・海外のプールは朝5～6時から営業を行っており、仕事前にプールに入っていくサラリーマンがいる。通勤・通学前の時間帯の公共施設活用を考えるべき。（9時～17時は利用可能者が少ない。施設の時間帯における利用者ターゲットを分けるべき）

○シンポジウム○

「スポーツ界における好循環の創出」

コーディネーター：内山俊哉（NHKチーフアナウンサー）

パネリスト：菊山直幸（公財）日本中学校体育連盟事務局長）

桑田健秀（NPO法人総合型地域スポーツ倶楽部・ピボットフット理事長）

荻原智子（第27回シドニー五輪競技大会競泳代表）

○東日本大震災後初となるロンドン五輪では視聴率が30%を超え、これまで別々であった「競技スポーツ」「生涯スポーツ」「部活」が互いに距離を縮めたと感じた。

- ・少子化が進むと生徒数も減り、採用数も減る。結果、教員の高齢化が進む。

- ・地域の大人は、地域の子どものために背中合わせではなく向かい合う必要がある。
- ・トップアスリート巡回によって子ども達の熱気が全く違う。しかし、その熱気も 1 か月経つと徐々に戻っていく。1 学期に 1 回程度でもいいので定期的な訪問が必要。
- ・パナソニックのバスケットボール部をはじめ企業スポーツの休廃部が相次ぐ中、今後地域スポーツへの切り替えは避けて通れない。
- ・アスリートのセカンドキャリアとして教室開催や講演会などがあるが、それはあくまでも「アスリートとして」のセカンドキャリアである。現役を退いた後の環境についてはまだまだ不十分。
- ・クラブでは参加料や会費をしっかりとること。多少高額でも質がしっかりとっていれば子どもは喜ぶ。子どもが喜べば親は満足する。

○分科会○

第 5 分科会「スポーツと健康づくりを一緒に行うアクションプラン

～スポーツ・運動開始へ誘導する環境づくり～

コーディネーター：下光輝一（(公財)健康・体力づくり事業財団理事長）

パネリスト：宮地元彦（(独法)国立健康・栄養研究所健康増進研究部部长）

大久保春美（(公財)日本障害者スポーツ協会技術委員会委員長）

斎藤尚美（東京都杉並区教育委員会事務局・社会教育主事）

- ・厚労省も「スポーツ」という切り口ではないにしろ、どのように運動実施者を増やしていくか検討しているところ。文科省と互いに手を取り合う必要があると感じる。
- ・現在、男性の寿命は 79.6 歳で世界 2 位、女性の寿命は 86.3 歳で世界 1 位である。一方「健康寿命（介護を必要とせず自立した生活ができる生存期間）」は男性が 70.4 歳、女性が 73.6 歳。
- ・10 年前と比較し、性別問わずほぼ全ての世代において平均 1,000 歩減少している。これは身体活動約 15%減と同様であり、「失われた 1,000 歩」を取り戻すべく 1 日 10 分程度（1 日 30kcal）の運動を「健康日本 21（第 2 次）」において推進する。
- ・「健康増進法」内では、各都道府県は住民が運動しやすい環境づくりに取り組まなければならないと掲載されており、法的義務がある。
- ・各都道府県で「ロコモティブシンドローム」について講演を依頼したい場合は、健康スポーツ医や医師会、健康運動指導士会などに依頼してみるとよい。
- ・育児中の母親は、赤ちゃんを抱っこしてあやす等体を動かしている。「これも運動なんだ」と意識することで、十分エクササイズになる。

※当事業については、日体協ホームページ（下記 URL）参照

<http://www.japan-sports.or.jp/tabid/201/Default.aspx>